

『こども支援交流センター』完成へ

市民の運動と結んで要求実現へ

日本共産党

改選後初の定例市議会が、7月25日から8月13日まで開催されました。

総額で約37億円の補正予算が生まれ、「こども支援交流センター」の開設や現市長になって5回目の「機構改革」などが決められました。

党議員団がとりあげた要望や成果を一部紹介します。



11月オープン予定の「こども支援交流センター」(仮称)療育センター(片山町2丁目)

主な質問項目

塩見みゆき議員の代表質問

- 開発優先ではなく住民福祉の増進を
- 「機構改革」に税金をむだに使うな
- 国保料、介護保険料の引き下げを



- (仮称)「療育センター」(こども支援交流センター)には、適正な専門職員の配置を

- 障害者支援交流センターについて、看護師や職員を増員し充実を



- 障害者の生活施設の整備を早急に
- 学童保育について、土曜日の実施や時間延長を
- 貨物駅建設問題について、貨物駅専用道路は地下方式採用など
- 開発問題について、「すまいる条例」を形骸化させるな

- 商工問題について、中小零細業者や商店街活性化のために具体的な政策や予算の増額を

- 小児科・婦人科医師の確保を
- 35人学級、中学校給食の具体的な進め方は?



- 憲法9条を生かした平和のとりくみ
- 市営岸部中住宅の一般募集を

玉井みき子議員の個人質問

- 夜間救急体制(小児救急、救急受け入れ)について
- 子育て施策(健診後のフォローや育児見教室)について
- 病児保育について



- 小規模多機能高齢者施設とコムスン利用者について
- 吹田操車場跡地の遺跡や環境問題

柿原まき議員の個人質問

- 桃山台駅バリアフリー化について
- 千里南地区センターの再整備計画
- ニュータウンの地域包括支援センターを高野台につくることについて
- 住基ネットと個人情報保護対策
- 多重債務対策窓口設置を!
- 公契約制度創設について

そろり邦雄議員の個人質問

- 南千里「吹田市休日急病診療所」の存続を
- 市民病院玄関前を車で患者の送迎がしやすく改善を
- 市独自の老人医療費助成制度の継続を
- 第2期学校規模適正化について
- 市民にわかりやすい市政運営を
- 岸部中デイサービスセンター・グループホームの指定管理者問題

実現する主な市民要望



- * 「こども支援交流センター」を11月にオープン(写真上) 障害をもつ子どもたちの「療育」の拠点になる
- * わかたけ学園の通園バスを1台ふやす
- * 小学校高学年障害児見守り事業で1時間の延長に補助金
- * 小中学生等障害児預かり事業に補助
- * グループホームに運営助成
- * 高齢者や障害者が家具転倒防止器具を設置するのに助成
- * 岸部診療所で病児保育を実施
- * 千里ニュータウンに地域包括支援センターを設置
- * 小中学校3校の耐震診断と小学校校舎耐震化計画。公民館の耐震診断も
- * 千里山竹園に児童センター建設
- * 児童館を試しに月1回日曜日も開館
- * 中学校運動場ナイター施設を冬期に開放(2校)
- * 元日と月曜をのぞく祝日も図書館を開館
- * 岸一地区公民館の改築
- * 阪急関大前駅にエレベーター4基設置

